

つながい

東金市立北中学校
第3学年だより
令和7年12月1日 第9号
文責：白井 嶺雄



～進路と成長を見守る冬に～

今年も残すところわずかとなりました。冬休みまでのこの期間は、1年目の締めくくりとしてとても大切な時期です。日々の授業や生活のリズムをもう一度整え、これまでの積み重ねてきたことをしっかりと形にしていきましょう。これまで積み重ねてきた学びを振り返り、自分の弱点に向き合う姿勢が必要となります。受験が近づくにつれ、不安や焦りを抱える生徒も増えてきますが、それらの気持ちは、自分が進路に真剣に向き合っている証でもあります。大切なのは、そうした感情を正面から受け止めつつ、具体的な行動へつなげていくことです。学校としても、生徒たちが安心して学び、努力できる環境づくりに引き続き努めてまいります。

また、12月は大きな行事こそ少ないものの、日常の中に成長の機会が数多くある時期でもあります。挨拶や身だしなみ、言葉遣いといった基本的な生活習慣は、高校生活でもそのまま求められる大切な力です。生徒たちには、進路の準備だけでなく、「社会に出る前の基盤づくり」という視点でも自分の行動を見つめ直し、より良い姿勢を身につけていってほしいと考えております。

～生徒会任命式・委員会認証式を行いました～

11月に、生徒会任命式・委員会認証式が行われました。3年生にとって、この式は自分たちが担ってきた学校の中心的な役割を1・2年生へ引き継ぐ、大きな節目となる行事です。これまで生徒会や委員会の活動を通して、学校全体のために尽力してきた生徒たちの姿は、多くの生徒に良い影響を与えてくれました。活動の裏側には、日々の準備や気配り、調整など、多くの努力があり、その積み重ねが学校生活の大きな支柱となっています。こうした経験を後輩へ共有できることは、学校全体の財産でもあります。

新たに任命・認証された2年生・1年生の役員は、緊張した面持ちながらも、しっかりと任命証を受け取り、これから学校づくりに意欲を示していました。3年生が築いてきた伝統を引き継ぎながら、より良い学校を目指し、新しい視点で活動が進んでいくことを期待しています。

3年生にとっては、生徒会という大きな役割を終え、進路へ向けた準備にいっそう集中していく時期となります。生徒会で培った責任感や協働の力は、高校生活でも必ず生きていくものです。保護者の皆様にも、これまでの温かなご支援に深く感謝申し上げます。

